

貸借対照表

(2020年 3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,165,194	流動負債	1,452,469
現金および普通預金	2,187,971	買掛金	473,446
定期預金	1,000,000	未払金	656,557
売掛金	691,101	未払費用	219,053
材料	137,618	未払法人税等	93,751
仕掛品	137,192	その他	9,661
その他	11,310	固定負債	124,828
固定資産	1,756,322	退職給付引当金	115,772
有形固定資産	1,571,490	長期未払金	9,055
建物	145,691	負債合計	1,577,297
構築物	17,496	純資産の部	
機械装置	592,528	株主資本	
車輜運搬具	0	資本金	90,000
工具器具備品	246,185	利益剰余金	4,254,219
土地	177,231	利益準備金	22,500
建設仮勘定	392,356	その他利益剰余金	4,231,719
無形固定資産	17,159	純資産合計	4,344,219
ソフトウェア	14,963		
建設仮勘定	520		
その他	1,676		
投資その他の資産	167,672		
差入敷金保証金	605		
長期前払費用	28,234		
繰延税金資産	138,833		
その他の投資等	-		
資産合計	5,921,517	負債および純資産合計	5,921,517

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

(個別注記表)

〔重要な会計方針に係る事項に関する注記〕

- 1.記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- 2.資産の評価基準および評価方法
 - (1)有価証券の評価基準および評価方法
時価のないもの……………移動平均法による原価法に基づく低価法
 - (2)棚卸資産の評価基準および評価方法
総平均法による原価法
(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
- 3.固定資産の減価償却の方法
 - (1)有形固定資産(リース資産除く)… 定率法によっております。
 - (2)無形固定資産(リース資産除く)… 定額法によっております。
 - (3)リース資産…………… 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められる以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっております。
- 4.引当金の計上基準
 - (1)退職給付引当金…………… 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。
なお、過去勤務債務については、その発生時における従業員の平均残存勤務年数による定額法により発生の事業年度から費用処理しております。
数理計算上の差異については発生時における従業員の平均残存勤務年数による定額法により按分した額を発生の翌事業年度から費用処理しております。
- 5.その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
 - (1)消費税の会計処理方法
税抜方式によっております。

〔貸借対照表に関する注記〕

1.有形固定資産の減価償却累計額……………	21,588,261 千円
2.関係会社に対する債権・債務	
関係会社に対する短期金銭債権	691,101 千円
関係会社に対する短期金銭債務	28,048 千円